

クラウド開発環境を使いこなす。

Torqueは、クラウド上でのアプリケーション開発につきものである「環境設定の複雑さ」「運用の煩雑さ」「セキュリティやコスト統制の難しさ」といった課題を解決するアプリケーション開発環境統合管理ツールです。

企業におけるクラウド開発のポテンシャルを最大化し、サービス開発のQCDを改善。現代のサービスに求められるアジリティを実現します。

クラウド・オートメーションによる、アプリケーション開発&デリバリーの高速化

Torqueは、AWS, Azure, Kubernetesなどのクラウド上における、複雑かつアプリケーション・セントリックな環境に“インフラストラクチャ・オートメーション”を提供するSaaSプラットフォーム。

世界中のITリーダーおよびDevOpsイノベーターに、アプリケーション開発・テスト・本番リリースの効率化および強固なガバナンスを提供します。



Torqueのベネフィット



セルフサービスなアプリケーション環境

開発から本番環境まで共通の環境定義を展開し、CI/CDパイプラインと結合。IaCをサポートし、クラウドやCI/CDツールの設定を簡素化。開発者は必要なアプリケーション環境へオンデマンドでアクセス、専用の開発環境をすばやく立ち上げられます。



自動化とオーケストレーション

ビジネスの要求に応える複雑かつアプリケーション・セントリックな開発環境テンプレートを迅速にモデル化します。



開発・リリースの迅速化

保存された開発環境をワンクリックで再現/リリース。Blue-Green DeploymentやABテストを可能にするとともに、サービスの市場投入までの時間を大幅に短縮します。



ガバナンスとコストの最適化

AWSやAzureといったクラウドリソースを効率的に管理。クラウド開発のガバナンスを強化、コストとセキュリティをコントロールします。

スケーラブルな“インフラストラクチャ・オートメーション”

セルフサービスなアプリケーション環境で、企業のDevOpsを数倍に拡大。

クラウドオートメーション・コスト管理・セキュリティを、企業の開発プラットフォームへ提供。マルチクラウドを単一UIで制御し、開発環境から本番環境までをシンプルに。クラウドの専門家でなくても、必要とするインフラストラクチャおよびアプリケーション・リソースを迅速かつ自在に手にする = “Environments as a Service” を実現します。

世界500社を超えるイノベーターからの信頼

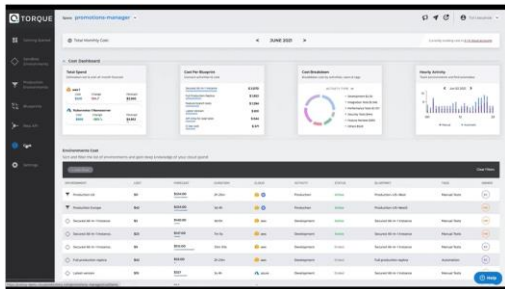


Torqueの機能と優位性



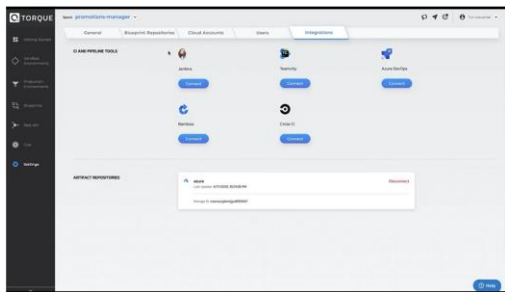
セルフサービス

GUIポータル・CI/CDツール・CLIを介して、開発チームが必要とするクラウドインフラストラクチャおよびアプリケーション環境にオンデマンドかつセルフサービスでアクセスすることができる“Environments as a Service”を提供します。



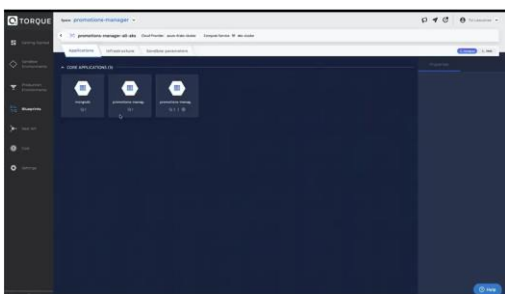
クラウドコスト管理

リソースへのタグ付けとコミッションの自動解除、ポリシー管理、ロールベースでのアクセス制御を提供。不要なアクセスを排除し、クラウドアカウントでの過剰な支出を回避します。



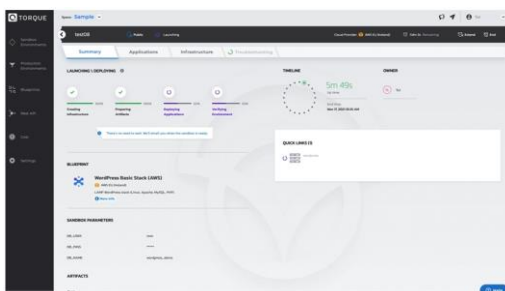
シームレスなCI/CD統合

組織のDevOpsエコシステムおよびCI/CDパイプラインへネイティブに統合。継続的な環境の構築をサポートします。



シンプルなブループリント・モデル

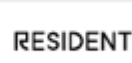
ソース制御されたYAML、ユーザーフレンドリーなUI、また企業固有の環境へアクセスするTorqueのオープンフレームワークを用いて、AWS, Azure, Kubernetesにおける再利用可能な環境テンプレートを構築。複雑なアプリケーション・セントリックな環境のセットアップとティアダウンを、高信頼性かつ繰り返し可能な方法で自動化します。



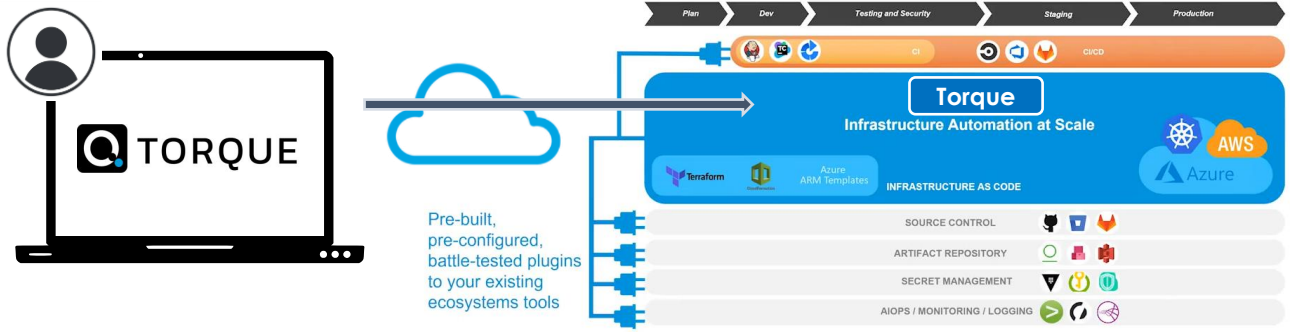
摩擦のないガバナンス

コンプライアンスの維持と、クラウド利用・セキュリティ・コストをコントロールするポリシーを担保。開発とイノベーションのサイクルを阻害することなく、かつスプロール現象を回避するガバナンスを実現します。

世界500社を超えるイノベーターからの信頼



Torqueの実装イメージ



よくある質問

SOC2に準拠していますか？

インフラストラクチャ自動化プラットフォームTorqueは、多国籍の専門サービスネットワークによる独立した第三者監査人による徹底的な監査により、SOC2 Type2コンプライアンス認証を取得しています。米国公認会計士協会 (AICPA) によって作成されたSOC2レポートフレームワークは、ユーザーデータを管理するためのベンチマークを設定。お客様の顧客情報を保護・管理するための適切なセキュリティ、プライバシー、およびコンプライアンス管理を確実に遂行します。

他のInfrastructure as Code (IaC) ツールとどこが違いますか？

TorqueはIaCの標準に準拠しながら、そのメリットをより拡大します。開発者がIaCスクリプトの代わりにTorqueの定義するブループリントへアクセスすることで、以下の課題を回避するとともにこれらの段階的なメリットを実現します。

再利用可能なブループリントでは、使用者がIaCの専門家である必要はありません。必要な環境は適切なガバナンスとセキュリティプロトコルを備えながら仕様に合わせてプロビジョニングされます。Torqueのブループリントはオンラインポータルまたは既存のIDE/CLIツールを介してアクセスできるため、IaC以外の専門家でも活用することができます。

また、Torqueはロールベースでのアクセス制御を備えているため、管理者は特定のブループリントを使用するユーザーおよびその使用期間を定義することができます。IaCスクリプトはテキストファイルであるため、ご使用者に公開すると、変更が加えられ、最終的に事前定義された標準から環境を逸脱させてしまうことが起こり得ます。IaCスクリプトには環境の概念がないため、実行されたスクリプトのライフサイクルを管理したり、リモートアクセスのような環境上で追加されるサービスを提供したりすることはできません。

TorqueはIaCファイルにおけるすべてのリソースに標準的かつ簡潔な方法でタグ付けを行い、コストと使用状況を可視化します。Torqueのコストモジュールは、コンテキストのないインスタンスとは対照的にビジネスの観点から意味のあるタスクを表現できるサンドボックスの分析をサポートします。

一般的なCI/CDおよびDevOpsツールとどのように統合されますか？

Torqueにはすぐに使用できるプラグインと、既存のCI/CDおよびDevOpsツール用のRESTAPIが含まれています。これにより、独自のリリースパイプラインから直接かつ簡単に環境をデプロイできます。

クラウドリソースへのタグ付けは自動で行われますか？

Torqueは環境内のクラウドリソースに適切かつ一貫したタグを自動で付与することができます。Torqueの環境は、開発・テスト・トラブルシューティング・セキュリティ保証・ステージング・本番などのビジネス活動領域を表すため、Torqueはクラウドの消費をビジネス目的と結び付けて管理することができます。また、チームやクラウドプロバイダー、手動・自動の混在したクラウド活用といった様々な観点でそれぞれごとにタグ付けを行ったり、タグの命名規則をチーム全員に記憶させたりする必要がありません。これにより継続的なクラウドコストの最適化とクラウドガバナンスを実現します。

世界500社を超えるイノベーターからの信頼

